

文部科学省の「全国学力・学習状況調査」(国語と算数の学力調査及び質問紙調査)が、小学校においては6年生を対象として実施されました。本校における調査結果・考察とこれを踏まえた取組について報告いたします。
「遠阪っ子」の学力や生活習慣・学習習慣の向上をめざす本校の取組について、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

調査日：平成26年4月22日(火)

調査内容：教科に関する調査・・・国語A、国語B、算数A、算数B (Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題)

質問紙調査・・・学習意欲、学習方法、学習環境、学習習慣、生活習慣など

国語

調査結果・考察

- 国語科は、国語Aが全国平均と同程度、国語Bが全国平均を上回る結果でした。
- 本校は、一昨年度までの2年間、丹波市教育委員会の「たんば学力向上プロジェクト事業」実践推進校として国語科を中心とした研究に取り組んできました。授業をはじめ学校生活の様々な場面で、言語活動(話す、書く)を充実させ、子どもたちの「ことばの力」の育成に取り組んできました。
- 現在も、研究の成果を生かし、立場や意図、根拠を明確にして自分の考えを述べること、複数の情報の中から必要な情報を取り出し、整理し要約して書くこと、字数制限等与えられた条件に即して書くことなどの学習活動を意図的に取り入れ、継続して指導しています。
- こうした取組が少しずつ実を結びつつあります。引き続き、言語活動(話す、書く)が、学校生活の様々な場面でより一層日常的な活動として定着するよう計画的に指導していく必要があります。
- 国語Aでは、故事成語や「～たり～たり」などの文型等基本的な言語に関する知識・理解・技能に弱さが見られました。特に、故事成語をはじめ、ことわざや慣用句など伝統的な言語文化に親しむ学習活動が不十分であることが分かりましたので、重点的に取り上げて指導していく必要があります。また、朝の「のびのびタイム」(漢字週間)の時間において、漢字だけでなく文型等に関する学習プリントにも取り組んでいく必要があります。
- 国語Bでは、目的や意図に応じ与えられた条件に即して内容を整理・要約したり自分の考えを記述したりする力に、依然として課題があります。

調査結果・考察を踏まえた本校の取組

- 朝の「のびのびタイム」(漢字週間)の時間を充実させます。
 - 「のびのびタイム」の時間に、漢字練習(読み・書き)をプリントを使って徹底して行います。
 - 故事成語やことわざ、文法等に関する学習では、プリントを使って定着を図ります。
- 「遠阪っ子漢字検定」を活用し、漢字の習得の総仕上げを行います。
 - 年度末に一年間のまとめを行う「遠阪っ子漢字検定」では、各学年で合格点を設け、全員が合格できるように取り組みます。
- 朝の「表現活動」の時間を充実させます。
 - 毎月1回の朝の「表現活動」の時間は、各学年発表や群読など、子どもたち一人一人が自信をもって堂々と発表したり表現したりする力を身に付ける場となるように、一層内容を充実します。
- 国語科を中心としつつ他教科等でも、言語活動(話す、書く)を充実させます。
 - 国語科だけでなく他教科や全校集会活動など様々な機会を捉えて、目的や意図に応じ与えられた条件に即して自分の考えを記述するなど、「書くこと」を意図的に取り入れ、思考力・表現力向上を図る学習活動を計画的に実施します。
- 詩に取り組み、詩集「ぐんぐん」を発行します。
 - 豊かな感性と表現力の向上をめざして、年間を通じて詩を書くことに取り組み、年度末に、詩集「ぐんぐん」を発行します。

算数

調査結果・考察

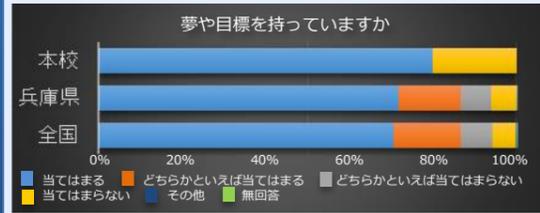
- 算数科は、算数Aが全国平均を上回り、算数Bが全国平均と同程度でした。
- 算数科ではこれまで、朝の「のびのびタイム」の時間に、丹波市教育委員会の学習プリント「ちーたん学習検定」を活用し、学習の理解度・定着度を確かめる取組を全校で計画的に取り組んできました。
- 現在も、子どもたち一人一人の学習結果を記録に残すとともに、理解が不十分な子どもには、補充学習を粘り強く続けています。
- また、本校では昨年度から、子どもたち一人一人の学習状況を把握し、個に応じた学習指導の充実をめざす算数科の授業研究に取り組んでいます。
- こうした取組が少しずつ実を結びつつあります。引き続き、子どもたち一人一人の理解度・定着度を確認しながら、一人一人に合わせた補充学習や発展学習を積極的に取り入れた授業づくりをしていく必要があります。
- 算数Aでは、数量や図形についての知識・理解に弱さが見られました。特に、割合に関する内容について、基礎的な理解や習熟を図る必要があります。
- 算数Bでは、示された情報を整理し数学的に解釈しながら筋道を立てて解く力に、依然として課題があります。

調査結果・考察を踏まえた本校の取組

- 朝の「のびのびタイム」の時間を充実させます。
 - 「のびのびタイム」の時間に、丹波市教育委員会の「ちーたん学習検定」など各種プリントを使って、計算力をはじめ、算数科の基礎的・基本的な問題を解く力の向上を図ります。
- 「わかる・できる・使えるようにするための算数科の授業づくり」について研究を進めます。
 - 授業の始めには「めあて」を子どもたちにはっきりと示し、授業の終わりには「振り返り」の活動を計画的に取り入れた授業を行います。
 - 授業では、子どもたちが見通しをもつことや自分なりの考えや方法で解くことを大切に、できるだけ多くの練習問題にも取り組めるようにします。
 - 具体物等を用いたり教具を工夫したりして、わかりやすい授業づくりに努めます。
- 子どもたち一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導を充実させます。
 - 小規模校の良さを生かし、子どもたち一人一人の学習結果の記録を累積し、理解度・定着度を確認しながら、一人一人に合わせた補充学習や発展学習ができるように指導方法を工夫改善します。

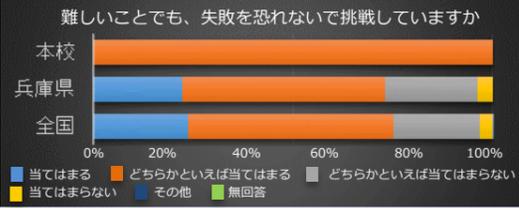
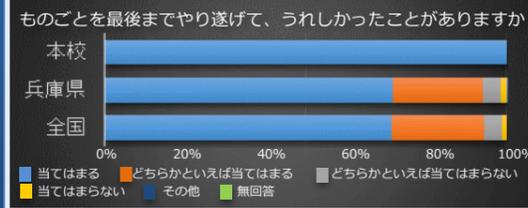
自尊感情

- 夢や目標を持つことを大事にする気持ちが育っています。
【学校教育目標】
「夢や目標を持って学び続ける心豊かでたくましい児童の育成」



調査結果・考察

- ものごとを最後までやり遂げたり、難しいことでも挑戦したりする気持ちが育っています。



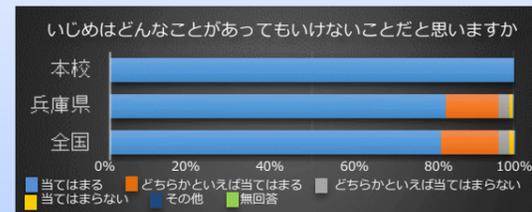
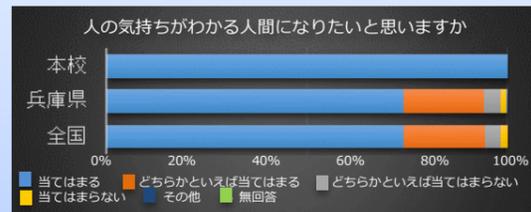
調査結果・考察を踏まえた本校の取組

- 「夢・チャレンジ」プロジェクトを推進します。
 - 遠阪小PTAや遠阪自治協議会、遠阪校区青少年健全育成推進協議会との連携を強化し、子どもたちに夢や目標をもって努力することの大切さを伝える学習機会として、トップアスリートゲストティーチャーとして招いた特別授業＝「夢・チャレンジ」プロジェクトを積極的に推進します。(本年度：年間5回実施します。)
- 求める児童像＝「目標を決めてチャレンジする子」を育てます。
 - 校長講話や学校・学級の教育活動を通じて、チャンスを逃さず積極的にチャレンジすることの大切さや、「目標を決める」→「続ける」→「やり切る」という目標実現のためのプロセスを理解させ、子どもたちが実践できるように粘り強く指導します。

規範意識

調査結果・考察

- 相手の気持ちを大切にし、いじめを許さない心が育っています。



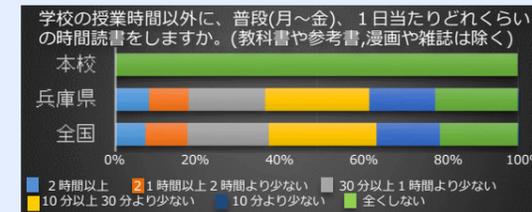
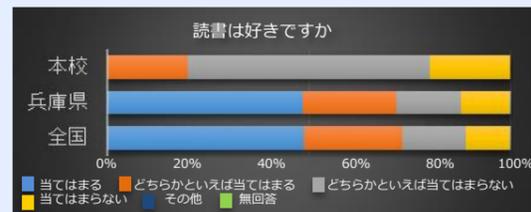
調査結果・考察を踏まえた本校の取組

- 「いじめ・暴力ゼロ」の取組を推進します。
 - 「丹波市いじめ・暴力ゼロ市民運動」の下、「いじめ・暴力ゼロサミット」(8月)を踏まえて、児童会が中心となり企画・実施する「縦割り班活動」などを通じて、仲間づくりを進め、子どもたちが主体的にいじめ・暴力をなくそうとする態度を育てます。
 - 全教職員の目で、子どもたちの日常の生活の様子を絶えず見守るとともに、定期的に、「楽しい学校生活を送るためのアンケート」(Q-U調査)、「いじめに係るアンケート」を実施し、子どもたちの内面理解に努めます。
- 求める児童像＝「良い影響が与えられる子」を育てます。
 - 「良い影響」とは、遠阪小学校全体が良くなっていく発信源となる考えや行動であり、是非みんなに広めていきたい考えや行動のことです。例えば、「いじめは絶対に許さない」という考えや行動などです。
 - 校長講話や学校・学級の教育活動を通じて、学校生活の様々な場面で見られる子どもたちの「良い影響」をもたらす考えや行動を価値づけて、学校全体に広げていくよう指導します。

読書意欲

調査結果・考察

- 読書への関心・意欲が低く、これに伴い読書時間も短いことが課題です。



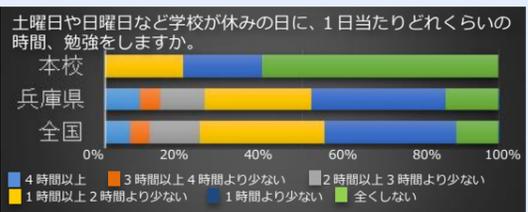
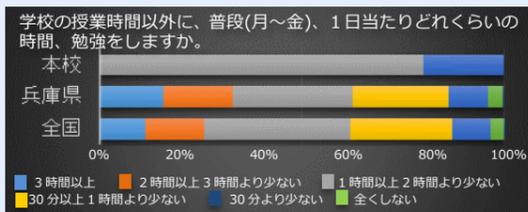
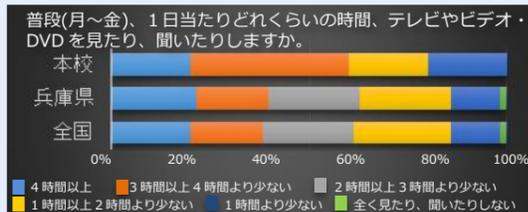
調査結果・考察を踏まえた本校の取組

- 「本だいきっ子大作戦」を推進します。
 - 本が好きな子どもを育てるため、「読書週間」(毎月1日～7日)、「ランチルーム読書」に取り組むなど、校内の読書環境や読書活動を充実させます。
 - 兵庫県立図書館や丹波市立中央図書館・青垣図書館との連携を強化し、図書館の図書の団体貸出し制度を積極的に活用し、様々な分野の図書に触れさせます。また、図書館ボランティアの専門性を活用し、ストーリーテリングやブックトーク、読み聞かせ等を行い、子どもたちの本への興味・関心を高めます。

生活習慣・学習習慣

調査結果・考察

- 平日、家庭において、テレビを視聴する時間及びテレビゲーム等をする時間が長く、これに比して勉強する時間が短い(特に、土曜日、日曜日など学校が休みの日に勉強する時間が短い。)ことが課題です。



調査結果・考察を踏まえた本校の取組

- 「家庭学習の手引き」を基にして、望ましい学習習慣が身に付くよう指導します。
 - 保護者との連絡を密にし、「家庭学習の手引き」を活用して、家庭学習の時間や方法など、子どもたち一人一人に望ましい学習習慣が身に付くよう粘り強く指導します。
- PTAによる「親子でつくりよう!家庭のルール()ヶ条」の取組と連携します。
 - 遠阪小PTAが取り組まれている「親子でつくりよう!家庭のルール()ヶ条」は、各家庭において、親子が対話し、家庭での生活習慣・学習習慣を今一度見直し、改善していこうとする取組です。こうしたPTAの取組と連携して、子どもたちの望ましい生活習慣・学習習慣が身に付くよう取り組みます。

本校は、学校教育目標「笑顔いっぱい きのうより一歩のびる遠阪っ子-夢や目標を持って学び続ける心豊かでたくましい児童の育成-」をめざして、教職員が一丸となり、家庭や地域と手を携えて取り組んで参ります。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。